

令和3年度

事業報告書

自：令和03年4月1日

至：令和04年3月31日

公益財団法人 日本食品化学研究振興財団

目 次

I	事業概要	1	
II	事業の実施状況	1	
	1 助成事業（公1事業）	1	
	（1）研究助成事業	1	
	（2）シンポジウム開催等助成事業	1	
	（3）奨学助成事業	2	
	2 情報収集、提供（公3事業）	2	
	（1）ホームページによる情報提供	2	
	（2）研究成果報告書の発刊	2	
	3 調査研究事業（公2事業、収益事業）	3	
	（1）受託事業	3	
III	管理運営業務	3	
	1 会議の開催	3	
	2 令和3年度主要業務	3	
IV	組 織	3	
V	附属証明書	3	
(資料)			
	別紙1 平成3年度（第28回）研究助成金交付対象者	...	4
	別紙2 令和4年度（第29回）研究助成金交付対象者	...	6
	別紙3 平成3年度シンポジウム開催等助成金交付対象者	...	7
	別紙4 令和4年度シンポジウム開催等助成金交付対象者	...	8
	別紙5 公益財団法人日本食品化学研究振興財団ホームページ 主なコンテンツ	...	9
	別紙6 令和3年度主要事業記録	...	10
	別紙7 組織	...	11

令和3年度 事業報告書

I 事業概要

- ・令和3年度の助成事業については、令和2年度に引き続き公益目的事業である食品化学に関する研究・シンポジウム開催等に対する助成事業を進めるとともに、海外から日本への留学及び日本の研究者の海外への留学に係る奨学助成事業を実施した。
- ・情報提供事業については、食品添加物その他食品化学に関する情報の収集とホームページ上での提供を令和2年度に引き続き実施した。
- ・調査研究事業については、食品添加物指定等申請のための安全性調査の新規品目の委託はなかった。
- ・本年度も、新型コロナウイルス感染症の感染状況も鑑み、理事会の書面開催、ウェブ会議システムの活用及び助成金贈呈式の中止等の所要の対応をとりつつ事業を実施した。

II 事業の実施状況

1 助成事業（公1事業）

(1) 研究助成事業

1) 令和3年度研究助成

令和3年3月に開催された選考委員会において選考し、同月開催の理事会にて決定した助成金交付対象15件に対して、同年5月、研究助成金（総額750万円）を交付した。
（交付対象者及び助成額は「別紙1」のとおり）

2) 令和4年度研究助成選考

① 募集公告

令和3年9月、本財団の助成対象の研究分野に関連のある専門誌（日本食品化学学会誌等9誌）及び関係学会（日本食品化学学会他10学会等）のホームページに当該募集公告の掲載を依頼すると共に、令和3年10月本財団ホームページにおいて募集公告を掲載し、助成対象者の公募を行った。

② 研究課題

令和3年度に引き続き、一般研究と課題研究（予め本財団が研究分野を定め、その分野内で申請者が課題を定めて行う研究）とに分けて助成申請の募集を行った。

③ 申請受付

令和3年11月15日～令和4年1月15日の2か月間、助成申請を募集し、44件（一般研究24件、課題研究20件）の申請を受理した。

④ 選考委員会審査

令和4年3月4日開催の第28回選考委員会において審査を行い、一般研究9件、課題研究6件の助成金交付対象者を選考した。

⑤ 理事会決定

令和4年3月10日開催の第52回定時理事会において、選考委員会の選考結果に基づき審議を行い、15件（総額750万円）の研究助成金交付を決定した。
（交付対象者及び助成額は「別紙2」のとおり）

(2) シンポジウム開催等助成事業

1) 令和3年度前期（令和3年4月～令和3年9月）

令和3年度研究助成と並行して、令和3年度前期シンポジウム助成の公募、選考、助成決定を行い、令和3年4月、3件に助成金（総額125万円）を交付した。

（交付対象者及び助成額は「別紙3」のとおり）

2) 令和3年度後期（令和3年10月～令和4年3月）

令和3年度後期におけるシンポジウム開催等の助成対象者を募集するため、専門学会誌及び関係団体ホームページ並びに本財団ホームページに募集公告を掲載した。

令和3年7月1日～7月31日の間募集を行い、令和3年8月31日開催の第26回選考委員会で選考を行い、9月13日開催の第50回臨時理事会で助成対象者を決定し、同年10月、2件に助成金（総額60万円）を交付した。

（交付対象者及び助成額は「別紙3」のとおり）

3) 令和4年度前期（令和4年4月～9月）

令和4年度研究助成と並行して、令和4年度前期シンポジウム助成の募集公告、募集、助成対象の選考、助成決定を行い、3件（100万円）の助成を決定した。

（交付対象者及び助成額は「別紙4」のとおり）

(3) 奨学助成事業

1) 令和3年度

令和2年度に助成決定された日本から海外への留学生について、新型コロナウイルス感染症により、海外渡航が半年遅延したことに伴い、令和3年度において助成額の半年分（40万円）を給付した。

2) 令和4年度

令和3年9月15日～10月31日の間、本財団ホームページに募集公告を掲載するとともに、関係学会等ホームページに募集公告掲載を依頼することにより公募を行った。

その結果、海外から日本への留学生1名から申請があった。12月3日に開催された第27回選考委員会でこの1名を選考し、12月17日開催の第51回臨時理事会でこの1名について助成（80万円）を決定した。なお、2月に辞退の申し出があり受理した。

2 情報提供事業（公3事業）

(1) ホームページによる情報提供 (<https://www.ffcr.or.jp/>)

令和3年度に行われた、食品添加物分析法の追加、食品中の残留基準値の新規制定及び改正（農薬等105品目）などの最新の行政施策をホームページに反映させるとともに、ホームページ掲載内容の継続的な更新・充実を図った。

ホームページへの内容等に関する利用者からの照会（226件）に対応した。

ホームページの掲載情報の概要は「別紙5」のとおりである。

(2) 研究成果報告書の発刊

令和2年度の研究助成対象者から提出された研究報告書を取りまとめた「日本食品化学研究振興財団第27回（令和2年度）研究成果報告書」を令和3年12月25日刊行し、当該研究者をはじめ、厚生労働省及び同省研究所、国立国会図書館、各都道府県衛生研究所、関係団体等へ配付した。

3 調査研究事業（公2事業・収益事業）

(1) 受託事業

今年度は、委託はなかった。

III 管理運營業務

- 1 会議の開催 ・理事会 5回（定時理事会2回、臨時理事会3回）
・評議員会 1回（定時評議員会1回）
・選考委員会 3回

2 令和3年度主要事業

令和3年度の主要事業については、「別紙6 令和3年度主要事業記録」のとおりである。

IV 組織

令和3年度末における本財団の組織については、「別紙7」のとおりである。

V 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書については、記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。

令和3年度(第28回) 研究助成金交付対象者

1:一般研究

交付対象者	研 究 課 題	助成額 (万円)
山口大学共同獣医学部 助教 今井 啓之	既存食品添加用色素を用いた胚移植の操作性及び視認性の向上	50
京都大学大学院農学研究科 助教 松居 翔	単純糖質嗜好性抑制作用を有する希少糖の探索とその応用	50
国立医薬品食品衛生研究所安全性予測評価部 室長 小島 肇	食品添加物の動物実験を用いない安全性評価のSystematic reviewに関する研究	50
東京農工大学大学院工学研究院 特任助教 辻本 恭	ミカン属植物に含まれるアルカロイドの分析とメタボローム解析	50
京都府立医科大学大学院医学研究科 病院助教 中西 尚子	メタボロミクスを用いた糖アルコールの糖代謝改善メカニズムの解明	50
東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授 山内 祥生	ヒトiPS細胞由来骨格筋細胞を用いた食品添加物ビタミン類の筋萎縮抑制効果に関する研究	50
岡山県立大学保健福祉学部 教授 山本 登志子	ナツメグ成分Malabaricone Cによる脂質メディエーター合成阻害と慢性炎症性疾患予防効果	50
神戸学院大学薬学部 助教 小野寺 章	蛍光標識人工甘味料の創製と安全性研究への応用	50

一般研究 8件 400万円

2:課題研究

2-1 食品添加物の体内動態および生体に対する影響に関する研究

日本薬科大学 講師 瀧沢 裕輔	カラメル色素Ⅲ・Ⅳに含まれる4-Methylimidazoleの消化管上皮細胞への影響	50
東京医科歯科大学医歯学総合研究科 助教 田中 大介	人工甘味料の摂取により活動し、その嗜好を駆動する神経細胞の全脳マッピング	50
日本医科大学 講師 若林 あや子	ミョウバンによる腸管上皮損傷に伴う炎症・アレルギー誘導性損傷関連分子の放出の解析と免疫学的安全性評価の検討	50

2-2 食品添加物を利用した食品および食品素材の保存・安全性向上に関する研究

名城大学理工学部 研究員 村上 和弥	食用油中シス体カロテノイドの安定性評価と安定性向上に最適な抗酸化物質の選定	50
--------------------------	---------------------------------------	----

2-4 高齢者・病者・障害者等のための食品添加物を利用した食品・食品成分補強方法の開発研究

岩手医科大学 准教授 黒瀬 雅之	安心して在宅でトロミ剤を提供するためのトロミ度計測マドラーの開発	50
------------------------	----------------------------------	----

2-6 食品化学分野における代替タンパク質 (Alternative Protein) の特性、機能、安全性等の研究

鳥取大学農学部 助教 美藤 友博	食用昆虫の栄養評価ならびにビタミンB12アナログの安全性に関する研究	50
北里大学獣医学部 講師 落合 優	食用昆虫タンパク質の生体内消化性および食品加工時の物性・抗菌性に及ぼす影響	50

課題研究 7件 350万円

合 計15件 750万円

令和4年度(第29回) 研究助成金交付対象者

1: 一般研究

交付対象者	研究課題	助成額 (万円)
星薬科大学 薬学部 穂山 浩	食品中の残留高極性農薬の半自動同時分析法の開発に関する研究	50
国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部 増本 直子	モノテルペンの精確な定量を指向したGC/FIDにおける相対モル感度を用いた定量法の開発	50
滋賀医科大学 生化学・分子生物学講座 近藤 健太	ビタミンCがCD8T細胞の病原体に対する免疫応答に及ぼす影響の解明	50
東北大学 多元物質科学研究所 鈴木 龍樹	食品色素としての利用を目指した天然青色色素の全合成およびその微粒子の基礎物性評価	50
国立医薬品食品衛生研究所 食品部 堤 智昭	固相マイクロ抽出法を用いた加工食品中のフラン及びその類縁体の分析法の開発	50
国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部 小島 肇	食品添加物の動物実験を用いない安全性評価のSystematic reviewに関する研究	50
東京大学大学院農学生命科学研究科 山内 祥生	ヒトiPS細胞由来骨格筋細胞を用いた食品添加物ビタミン類の筋萎縮抑制効果に関する研究	50
神戸学院大学 薬学部 小野寺 章	mTORC1による免疫細胞の機能制御におけるアスパルテームの影響	50
北海道大学大学院 農学研究院 小林 謙	泌乳期における非糖質甘味料の摂取が血液乳閉門に及ぼす影響	50

一般研究 9件 450万円

2: 課題研究

2-1 食品添加物の体内動態および生体に対する影響に関する研究

神戸大学大学院 農学研究科 芦田 均	体内動態を考慮したミリシトリン含有ヤマモモシクロデキストリン包接体の生体調節機能について	50
岐阜薬科大学 生命薬学大講座 松丸 大輔	食品添加物グレード二酸化チタンE171の糖脂質代謝系における安全性評価	50
神戸女子大学大学院 家政学研究科 丸山 紗季	アルギン酸ナトリウムの慢性的経口摂取による血圧上昇抑制効果	50

2-2 食品添加物を利用した食品および食品素材の保存・安全性向上に関する研究

新潟大学 研究推進機構超域学術院 筒浦 さとみ	炭酸水素ナトリウムの添加と高压処理の併用による微生物初期汚染の低減の検討	50
日本大学 薬学部 鈴木 直人	クルクミンと食品添加物からなる共結晶の製造工程における物理的安定性ならびに保存安定性	50

2-6 食品化学分野における代替タンパク質(Alternative Protein)の特性、機能、安全性等の研究

新潟工科大学 工学部 久保田 真敏	デンプン分解米胚乳タンパク質の可能性	50
-------------------------	--------------------	----

課題研究 6件 300万円

合計 15件 750万円

令和3年度シンポジウム開催等助成金交付対象者

(前期)

主催者及び申請者	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
食品ハイドロコロイド研究会 (東京海洋大学教授) 松川 真吾	食品ハイドロコロイド研究会講座(セミナー、シンポジウム及び国際Mini-Sympo)	40
日本ポリフェノール学会 (岐阜大学教授) 長岡 利	日本ポリフェノール学会 第14回学術集会 基調講演、シンポジウムやポスターセッション	25
日本食品化学学会 (国立医薬品食品衛生研究所病理部部長) 小川 久美子	日本食品化学学会 第27回総会・学術大会	60

合 計 125万円

(後期)

主催者及び申請者	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
日本毒性病理学会 大阪市立大学大学院医学研究科 教授 鱈淵 英機	第38回日本毒性病理学会総会及び学術集会 テーマ: 毒性病理学の未来を切り拓く技術と 創造性	30
日本食品化学学会 三重大学大学院地域イノベーション学研究 科 教授 矢野 竹男	日本食品化学学会 第37回食品化学シンポジ ウム テーマ: SDGsと食品化学	30

小 計 60万円
合 計 185万円

令和4年度シンポジウム開催等助成金交付対象者

(前期)

主催者及び申請者	シンポジウム等の名称・テーマ	助成額 (万円)
日本栄養・食糧学会 神戸大学大学院農学研究科 教授 芦田 均	第76回日本栄養・食糧学会大会 「ポストコロナの未来を拓く栄養科学・食糧科学 のあり方」	30
日本食品化学学会 日本大学生物資源科学部 教授 松藤 寛	日本食品化学学会 第28回総会・学術大会	50
食品ハイドロコロイド研究会 東京海洋大学学術研究院 教授 松川 真吾	第33回食品ハイドロコロイドシンポジウム・ セミナー及び国際Mini-Sympo	20

合 計 100万円

日本食品化学研究振興財団ホームページ (<https://www.ffcr.or.jp/>) 主なコンテンツ

(1) 食品添加物 関係情報

①リスト類

指定添加物リスト[日・英]、既存添加物リスト[日・英]、天然香料基原物質リスト
[日・英]、使用基準一覧[日・英]、指定添加物・既存添加物検索のための一覧表 等

②食品添加物の規格

第9版食品添加物公定書 及び 同追補[日・英] (厚労省、国立衛研へリンク)

③新食品添加物の指定

指定及び使用基準改正に関する指針[日・英]、指定等要請資料作成の手引き[日・英] 等

④食品添加物の安全性

JECFA による安全性評価、既存添加物の安全性評価[日・英]、食品添加物一日摂取量
調査 等 (厚労省、国立衛研、JECFA へリンク)

⑤食品添加物の表示 (消費者庁へリンク)

(2) 残留農薬 関係情報

①残留農薬ポジティブリスト制度

- ・ポジティブリスト制度について[日・英]
- ・食品に残留する農薬等の限度値一覧表 <食品名、農薬名から検索可能> [日・英]
- ・抗生物質・合成抗菌剤、除外物質一覧、分析試験法[日・英] 等

② 食品中の残留農薬検査結果、畜産食品の残留物質モニタリング検査結果

(3) 容器・包装 関係情報

- ・食品用器具・容器包装のポジティブリスト制度関係資料

(4) 研究助成成果報告

第5回 (平成11年度) 助成分以降の全ての助成課題の和文抄録

第8回 (平成14年度) 助成分以降の全ての助成課題の英文抄録

(5) 厚生労働省食品化学情報

食品化学に関する主要行政通知を掲載 (昭和43年以降)

(6) 食品安全委員会情報

食品添加物評価書一覧等 (食品安全委員会へリンク)

令和3年度主要事業記録

年月日	主要事業記録
令和3年4月19日	第48回定時理事会<ウェブ出席あり> ・令和2年度事業報告及び決算報告の承認に関する件 ・任期満了に伴う役員候補者の選出 ・代表理事職務執行状況の報告、他
令和3年5月17日	第28回研究助成金贈呈式→中止
令和3年5月21日	第14回定時評議員会<ウェブ出席あり> ・令和2年度事業報告及び決算報告の承認に関する件 ・任期満了に伴う役員候補者の選任
令和3年5月27日	第49回臨時理事会(書面表決) ・代表理事の選任に関する件
令和3年7月1日	令和3年度(後期)シンポジウム開催等助成申請の受付開始(7月31日まで)
令和3年8月31日	第26回選考委員会(書面表決) ・令和3年度(後期)シンポジウム開催等助成対象の選出に関する件 ・シンポジウム開催等助成選考基準申し合わせ事項の一部改正
令和3年9月13日	第50回臨時理事会(書面表決) ・令和3年度(後期)シンポジウム開催等助成対象の選出に関する件 ・シンポジウム開催等助成選考基準申し合わせ事項の一部改正
令和3年9月15日	令和4年度奨学助成申請の受付開始(10月31日まで)
令和3年11月15日	令和4年度研究助成及び前期シンポジウム開催等助成申請の受付開始 (令和4年1月15日まで)
令和3年12月3日	第27回選考委員会(書面表決) ・令和4年度奨学助成対象の選出に関する件
令和3年12月17日	第51回臨時理事会(書面表決) ・令和4年度奨学助成対象の選任に関する件
令和3年12月25日	研究成果報告書(第27回・令和2年度)刊行
令和4年3月4日	第28回選考委員会(於:三栄源エフ・エフ・アイ(株)本社)<ウェブ出席あり> ・令和4年度研究助成対象及び令和4年度(前期)シンポジウム開催等助成対象の選出に関する件、他
令和4年3月10日	第52回定時理事会(於:三栄源エフ・エフ・アイ(株)本社)<ウェブ出席あり> ・令和4年度事業計画及び収支予算の承認に関する件 ・令和4年度研究助成対象及び令和4年度(前期)シンポジウム開催等助成対象の決定に関する件 ・任期満了に伴う選考委員の改選 ・代表理事職務執行状況の報告、他

組 織

令和4年3月31日現在

1 役員		
理事長	清水 孝重	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 代表取締役会長
専務理事	伏見 環	公益財団法人 日本食品化学研究振興財団
理事	安達 修二	京都先端科学大学バイオ環境学部食農学科 特任教授
〃	神崎 浩	岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授
〃	小林 資正	大阪大学 名誉教授
〃	清水 康弘	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 代表取締役社長
〃	清水 玲子	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役
〃	下村 講一郎	東洋大学 名誉教授
〃	中垣 俊郎	一般財団法人 医薬品医療機器イノベーションサイエンス財団 理事長
〃	鍋谷 浩志	東京家政大学短期大学部栄養科 教授
〃	伏木 亨	甲子園大学 副学長
監事	尾川 雅清	シリウス法律事務所 弁護士
〃	妙中 茂樹	妙中公認会計士事務所 公認会計士
2 評議員	井上 健夫	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 取締役常務執行役員
〃	堤 康央	大阪大学大学院薬学研究科 教授
〃	中江 大	東京農業大学応用生物科学部 教授
〃	成田 昌稔	公益社団法人 東京医薬品工業協会 理事長
〃	船見 孝博	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 執行役員
〃	松浦 壽喜	武庫川女子大学食物栄養科学部 教授
〃	山崎 裕康	(前) 神戸学院大学薬学部 教授
3 選考委員	伊藤 美千穂	京都大学大学院薬学研究科 准教授
〃	井部 明広	実践女子大学 名誉教授
〃	今井田 克己	香川大学 理事・副学長
〃	梅村 隆志	ヤマザキ動物看護大学大学院動物看護学研究科 教授
〃	小関 良宏	東京農工大学大学院工学研究院生命機能科学部門 教授
〃	合田 幸広	国立医薬品食品衛生研究所 所長
〃	小林 資正	大阪大学 名誉教授
〃	堤 康央	大阪大学大学院薬学研究科 教授
〃	近澤 和彦	厚生労働省医薬・生活衛生局 食品基準審査課長
〃	船見 孝博	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 執行役員
4 事務局	田邊 伸也	事務局長
〃	長谷川 弘和	
〃	中村 明淑	
〃	海老瀬 千尋	
東京分室	鵜狩 真理子	